

AVANT-PROPOS

2020年3月23日、24日に予定されていた第34回関西フランス語教育研究会（RPK2020）は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、中止となりました。本大会では「フランス語を聞く、話す」「語学教員には何が必要か」という共通テーマを掲げ、様々な視角からのアトリエ企画はもちろんのこと、Danièle Moore氏による講演会や、運営委員によるTable Rondeが入念に準備されておりました。RPK発足から例のない大会中止という事態を迎え、人知で乗り越えられぬものを前に無力感を覚えると共に、本大会への参加を心待ちにされていた皆様、そしてこれまで本研究会を支えてくださったすべての方に対して申し訳ない気持ちを抱かざるを得ませんでした。

そのさなかにあつて、我々RPK2020運営委員はアトリエ申込者、そして今までRPKにご参加いただいたすべての方の論考を広く募集し、電子媒体による論集の作成を目指すことといたしました。このたび13本の論考を収録した論集『Rencontres 34』をお送りできることを心より嬉しく思います。我々の意思に賛同し、論考をお届けいただいた投稿者に感謝するとともに、未曾有の事態に直面し翻弄される我々を支えてくださったすべての方に心より御礼を申し上げます。

RPKでは刺激と発見に満ち溢れた出会いの場としての年次大会を皆様に提供すべく、一層の努力をしていく所存です。RPKの最新情報や過去の論考・情報に関しては、ホームページ（rpkansai.com）やFacebookでご確認いただけます。また現在、RPKでは会の運営に関わっていただける方を募集しております。興味を持たれた方の連絡をお待ちしております。

コロナ禍が終息し、皆様と再びお目にかかれる日のくることを心より祈っております。

第34回関西フランス語教育研究会 事務局長
高橋 梓 (TAKAHASHI Azusa)